

真崎地区 自治会だより

No.19

発行 平成28年9月25日
編集 真崎地区自治会
(企画・総務部会)
電話 ☎283-4477
真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibarakijp

ごあいさつ



真崎地区自治会 会長 大内 隆彦

例年のない暑い夏や、感動のリオ オリンピックも終わり、実りの秋本番となりました。真崎地区自治会の各種行事も皆様のご協力で予定通りに進んでいます。

村は、今年度から行政の下請け制度であった「行政協力員制度」を廃止した他、自治会への補助金を一括交付金制度に変更しました。また、自治会の自主、自立を求め、対等の立場で、協働のまちづくりを推進しようとしています。地域住民が通学路の安全点検や防犯、防災、環境美化、福祉活動等にこれまで以上に積極的に参加することが求められる時代となってきています。

一方で課題となっている自治会への加入率は、少子化高齢化の進展や、都市化の進展、ニーズの多様化等で低下傾向になっています。原因は、地区内にアパート、借家が多い事と、一戸建て世帯の未加入が多いためです。

現在真崎地区自治会内には、高齢者の1人世帯が100世帯以上あり、増加傾向にあります。地域住民同士の繋がりが希薄化する中で、高齢者の一人暮らし増加は、行政だけでなく、地域で取組む課題になると思われます。ライフサイクルの中で、2人から1人になる時があります。一人になっても安心して暮らせる地域にするには、現役時代から誰もが人と人との支えあいを大事にして、誰かのために役立つ活動に参加し、地域に溶け込む事が必要だと思います。「ホッとする繋がり、自治会」の標語のもと今後ともお互い気楽に顔見知りになれて、隣近所との繋がりができるような真崎地区自治会にしたいと思いますのでご協力をお願いします。

第4回 防災訓練 ～10月22日(土)～

時間：午前10時～12時 場所：真崎コミュニティセンター（基幹避難所）、各集会所
対象：真崎地区自治会 役員及び専門部会員、単位自治会自主防災組織員及び班長

内容：初期消火訓練、火災時の煙体
験、発電機操作訓練、無線機
操作訓練、AED操作訓練、受
水訓練、電気自動車からの充
電操作訓練

など

各自がその場で実践！ ～シェイクアウト訓練～

午前8時の花火で
『安全行動』開始！
1分間姿勢を維持
したら終了！



●	● 目 次 ●	●
・	会長挨拶／防災訓練について …………… 1	・
・	真崎地区内のお祭り…………… 2	・
・	運営委員会及び各専門部会の活動報告 3	・
		・
		真崎地区社会福祉協議会…………… 4～5
		青少年育成東海村民会議村松支部…6～7
		村政懇談会報告／行灯展示 …………… 8

荒谷台 夏祭り

7月23日(土)、村長、真崎地区正副自治会長など多くの来賓の方々にご参加いただき、荒谷台夏祭りを開催しました。子供みこしや子供会主催の催し、フランクフルト、焼き鳥などの出店、特別企画として今年も「真崎コミセンの朝市」を行っていただき、お祭りが盛り上がりました。近隣の子供たちの来場もあって、多くの参加者で賑わいました。最後は、恒例の花火を行い、お祭りを無事に終了することができました。ご協力、ご来場いただいた多くの皆様がこの場をお借りして、お礼申し上げます。この祭りが、参加された皆さんの活力となり、また子供達のよい思い出となれば幸いです。



『第9回真崎古墳行灯まつり』盛大に開催

昼過ぎからの雨が上がり、にぎやかな祭りが始まりました。今年もソーラン踊りや小太鼓の叩き手として区内の児童たちが、そして東海中生がボランティアで準備から片付けまで多くの協力をしてくれました。東海村と水戸市出身のお笑いコンビ「すいたんすいこう」によるライブコントもあり、最後の東海音頭まで盛り上がりが続きました。150を超える行灯が彩る古墳群にみなさまも癒されたのではないのでしょうか。今回も多くの方にご来場いただき、ありがとうございます。



地区自治会及び各専門部会の活動

地区自治会役員会及び運営委員会

水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち
毎月定例役員会を開催し、各種行事の検討、村政懇談会の運営や防災訓練の骨子についての計画・実施の協議を行っています。

3つの単位自治会が力と知恵を出し合い、私たちの地域がよりよい場所になるような活動が展開できるよう協議を進めていきます。



役員会の様子



防災訓練会合の様子と昨年の防災訓練の風景



建設・環境部会

花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり

真崎地区内7ブロック(10ヶ所)の花壇に花いっぱい運動の活動として、季節の花々を植栽しています。植栽には、子供会の子供たちからお年寄りまでが参加し、地域の多くの有志団体の方々が一緒になって花壇を作っています。これからも季節を感じることができるやさしい環境づくりにご協力ください。



真崎古墳群前の花壇



朝市の様子

農・工・商部会

地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

第3水曜日(地区社協ふれあい食事会開催日)8時半頃から真崎コミセン、舟石川三区集会所で、真崎地区内で作られた野菜の販売を行っております。また、地区内の各イベントにも参加しております。新鮮なものを安く販売しておりますので、どうぞご利用ください。

【野菜を販売しませんか】

野菜の販売を一緒に行ってください方を募集しています。
・野菜を栽培されている方。
・真崎地区に居住している方。
ご興味のある方は、真崎地区自治会事務局までご連絡ください。

企画・総務部会 地域を愛し、人がつながるまちづくり



部会の様子

地区自治会だよりNo.18を平成28年6月に発行しました。地区自治会だよりには、地域の出来事を多く掲載していきたいと考えていますので、皆さんの身近な情報をお寄せください。また、企画・総務部会で一緒に活動いただける方を随時募集しています。ご興味がある方は、真崎地区自治会事務局(石田副センター長283-4477)までご連絡ください。お待ちしております。

福祉
部会

真崎地区社会福祉協議会

平成28年度定期総会

H28.4.24

4月24日(日)真崎コミュニティセンターにおいて真崎地区社会福祉協議会定期総会が開催されました。平成27年度の事業報告及び決算報告、平成28年度の事業計画及び収支予算について審議し原案通り承認されました。

【平成28年度役員】

会長 床嶋 純孝

副会長 中瀬 恒雄、若杉圭一郎

幹事 柏原 文夫、鈴木八重子、堀木欧一郎、高野 久行
高橋 厚子、塩澤 絹子、白石 保、松江 礼子



ふれあい食事会

毎月第3水曜日

毎月第3水曜日(8、12月を除く)に、高齢者が参加しやすいよう真崎コミセンと舟石川三区集会所の2会場で同時に食事会を行っています。

ボランティアの方々による紙芝居やリハビリ体操、カラオケ等で交流を深め、また、講師の先生をお招きし「お薬手帳の効用について」や出前講座を利用した「介護保険制度について」の勉強会も行っています。

両会場とも心を込めて調理した昼食を、歓談しながらみんなでいただき、楽しいひと時を過ごしています。また、誕生日を迎える方には、ささやかですがプレゼントをご用意しています。



真崎コミセンでの食事会の一コマ



舟石川三区集会所での食事会の一コマ

ふれあい協力員視察研修会

H28.7.6

7月6日(水)村社協のバスを利用して27名が稲敷郡阿見町にある阿見町子育て支援センター、予科練平和記念館、雪印メグミルク阿見工場を訪れました。

子育て支援センターは、子育て家庭に対し、相談、支援、保育サービス情報の提供等を行う施設で、活動内容の説明の後、活発な意見の交換を行いました。予科練平和記念館は「今



子育て支援センターと予科練平和記念館

を生きる私たちにできること」を考えさせられる記念館でした。雪印メグミルク阿見工場は最新設備を備えた同社最大級の工場で、プロセスチーズ、マーガリンを製造しています。工場の概要説明の後、製造工程、保管庫を見学し、試食、買い物をしました。



エアシャワー体験と手洗いの勉強

ふれあい協力員研修会(調理担当者研修)

H28.8.12

保健センターから3名の先生をお招きし、「熱中症対策について」講話いただきました。調理実習では「さっぱりいただけるサバのカリカリソテー トマトソース」に挑戦。手際よく調理し、素晴らしい出来栄でした。食事会での提供にも役立ちます。

作った料理はおいしくいただきました。



講話の様子

もうすぐ完成

保健部会の活動

保健部会では、毎年健康ウォーキングを開催しています。今年7月には真崎古墳群と東海12景のうち3景を巡る約4.6Kmのコースを歩き、ウォーキング後はコミセンでゲームを楽しみました。

スポーツ吹矢講習会は4年目となり毎週木曜日に行っています。的の中心に当たったときの爽快感は格別です。随時入会を付けていますので、入会希望の方は真崎コミセン(TEL 283-4477)までお気軽にお問合せ下さい。

「パンポン」の準備が整いました。真崎コミセンの多目的ホールで、ダブルス2組が同時にプレーでき、子供も大人もみんなで楽しむことができます。問合せは真崎コミセンまで。



村松晴風の碑の前で

スポーツ吹矢講習会

台風到来に備えを！！

今年の台風は遅れて7月3日に第1号が発生しています。その分これから発生が増える可能性があります。(昨年2015年は27回発生しています)



- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要ならば外から板を打ち付けて補強する。
- 庭木に支柱をたてたり、塀を補強したりする。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- テレビアンテナはステー線や支柱を確認し、補強しておく。
- 風でとばされそうな物、たとえばゴミ箱や小石などは飛ばされないように固定しておく。

教育 部会 青少年育成東海村民会議村松支部

平成 28 年度定期総会

5月25日（水）、真崎コミュニティセンターにおいて、定期総会が開催されました。平成27年度の事業報告と決算報告、平成28年度の事業計画と予算案について審議し、すべて承認されました。本年度もどうかよろしく願いいたします。

平成28年度役員

- 【支部長】 浅井 雅人 【副支部長】 須藤 芳、加藤 孝幸、若杉 圭一郎
- 【家庭地域委員会】（委員長）遠藤 仁、（副委員長）大浦 由嫁
- 【青少年委員会】（委員長）白石 保、（副委員長）児玉 佳子
- 【総務委員会】（委員長）加納 里美、（副委員長）物井 聡

クリーン作戦

6月18日（土）、クリーン作戦を実施しました。朝早くからたくさんの小学生や幼児、その保護者、および中学生が参加して、通学路や周辺道路のごみ拾いをおこない、3ヶ所の集積所に集めました。2週間前に東海村の一斉クリーン作戦があったにも関わらず、たくさんのごみが集まりました。参加者総数は約230名でした。参加された皆さん、スタッフの方々、それに休日にも関わらず集まって下さった村松小学校の先生の皆さん、どうもありがとうございました。これからもごみのないきれいな街にしていきたいと思います。



おつかれさまでした



ソフトドッチボール大会

6月18日（土）、第35回村松学区子ども会親睦球技大会を村松小学校体育館にて開催しました。本大会は村松学区で活動する睦第一と荒谷台の2つの子ども会が交流する貴重な機会です。試合は低学年、高学年で行い、余興として親子対戦も行いました。和気あいあいとしたムードも試合が始まると一変し、いつしか闘志むき出しの熱戦となり観客の応援にも力が入りました。最後まで全力でボールに食らいつく子供たちの姿はたくましく、また、親子試合での力強いボールのやり取りに子供たちの成長を実感しました。接戦の末、今回は荒谷台が勝利しました。短い練習期間にも関わらずあっという間にコツを掴んでいた子供たちには驚きました。最後に、少年団や吹奏楽などの合間を縫って積極的に大会へ参加してくれた子供たち、また、練習から大会に至るまで指導、サポートして下さった多くの保護者の方々に感謝いたします。



優勝おめでとう!!

本大会は、子ども会育成会が主催で、教育部会・村民会議村松支部の後援事業となっています。

今後の事業予定

- 10月 8日（土） つり大会（場所：中央排水路）
- 12月10日（土） しめ飾り作り・餅つき大会（場所：真崎コミセン）

青少年育成東海村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員（教育部会員）、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世帯300円の会費などを基に運営されております。

6月29日 村政懇談会（真崎地区）が実施される！

真崎地区として質問した3つの内容についてご紹介します。（真崎地区自治会長 大内隆彦）

① 古墳群の整備について

古墳内の杉の伐採について、古墳群に影響を及ぼさないよう伐採を進めていく。また、入口階段の形状変更と手すり設置は、今後協議を重ね、計画的に実施する予定。



100名を超える方が参加

② 中央土地区画整理事業と村小周辺山林保全について

ソーラー発電施設設置については、県や県内自治体の動向を注視し、計画の周知、住民の意見が述べられる仕組みづくりに取り組む。根崎地区の移転対象物件に関しては、平成30年度までに移転完了する予定。なお、平成34年度までには中央地区全体の工事完了を目標として進めている。



多くの質問、意見が出されました

③ 村の「協働」に対する考え方や方針について

「東海村協働の指針」に変わりではなく、村では自治会本来の主体的、自立的活動を尊重し、支援していく。また、まちづくり協議会制を提案しており、多様なニーズ・問題解決の一つの方法になると考えている。

コミセン内に行灯を飾っています



「真崎古墳行灯まつり」の主役である行灯。毎年、真崎地区内の村松小学校と白方小学校の児童たちが行灯の絵付けを行ってくれています。児童たちのバラエティ豊かな個性が生み出す色とりどりの行灯をじっくり鑑賞していただきたく、真崎コミュニティセンターの和室前の廊下に飾らせていただきました。

今や行灯まつりになくてはならなくなった東海中学校の生徒の手で行灯を古墳から運搬してもらい、実行委員と力を合わせて飾り付けてもらいました。10月中旬に行われる予定の三世代交流会まで飾ってありますので、ぜひご覧になってください。

【編集後記】

日本人大活躍のうちに、駆け抜けたリオオリンピック。最新のテクノロジーの中に悠久の歴史を潜ませシンプルにまとめたフラグハンドセレモニーの演出も素敵でした。

リオの雨降りの裏側で、関東も台風直下。夏のお祭りで絆を深めた後は、防災を見つめる季節です。

【H.M.】

*このたよりは、村の地域づくり推進事業、地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。